



多摩クリニック
ニュースレター
2021年**特別号**
For Dentist
第50号

Winter2021

多摩クリニックは開院10年目を迎えました 乳腺内分泌外科外来を開設しました

先生方、地域の皆様に支えられて、本年10月で開院10年目を迎えました。多摩クリニックでは、摂食嚥下リハビリテーションの専門クリニックであると同時に、地域のハブ診療所として、口腔外科、有病者歯科、歯科訪問診療の充実を図り、地域のバックアップ診療所を目指しています。その一環として、今般、飯田橋附属病院の乳腺内分泌外科のサテライト外来診療室を設置しました。乳がん後に発症する可能性のある骨転移に対する骨吸収抑制剤投与による顎骨壊死の予防など、歯科部門と連携して進めてまいります。

乳癌を早期に発見し、適切な治療を！

(附属病院乳腺内分泌外科教授 櫻井健一)

我が国では現在のところ女性のうち9人に1人が乳癌になると言われています。「身内に乳癌がないから自分はならない」と思っておられる方も多いですが、実は乳癌の患者さん全体に占める遺伝性乳癌(BRCA1またはBRCA2遺伝子に異常がある)は5~10%、家族性乳癌(身内に乳癌が多い)は2%程度と報告されています。つまり、90%以上は身内の乳癌傾向がない方が乳癌にかかっているのです。乳癌は予防はできませんが、早期発見・早期治療を行えば十分に完治する可能性が高い病気です。良性疾患でも悪性に移行するものもあります。検診を含め適宜受診し、早期発見に努めて、適切に診療することが大切です。

乳腺内分泌外科の特徴

乳腺疾患、内分泌疾患について診療する外科で、以下のような疾患に対応しています。飯田橋にある日本歯科大学附属病院乳腺内分泌外科と連携し、診断・手術・内分泌療法・化学療法・放射線療法を行なっております。

— 乳腺疾患 —

乳腺の良性・悪性腫瘍、乳頭異常分泌症、乳腺炎など。

— 甲状腺疾患 —

甲状腺の良性・悪性腫瘍、バセドウ病、橋本病など。

— 副甲状腺疾患 —

原発性副甲状腺機能亢進症、二次性副甲状腺腫瘍亢進症(透析患者さんを含む)など。

— 体表疾患 —

体表の良性・悪性腫瘍。一部の皮膚科疾患。

— 癌化学療法 —

乳癌などの化学療法、内分泌(ホルモン)療法、分子標的治療など。

当科では外科専門医・指導医、乳腺専門医・指導医、内分泌外科専門医・指導医、マンモグラフィ読影医(A以上)の資格を持つ医師を配置し、適切な診断・治療にあたっています。乳腺・甲状腺疾患は自分で見たり触ったりして気づくこともよくあります。



こんな症状はありませんか？

- ・乳房の皮膚に変化(赤みがある、へこみがある、ひきつれている)がある。
- ・胸や脇の下に異常(しこり、しこりかわからないがなんとなく気になる、硬い、痛い、張り感がある)を感じる。
- ・乳頭から赤色や褐色の分泌液が出る。
- ・乳頭がただれてなかなか治らない。
- ・他施設の検診や自治体の検診で要精密検査となった。

櫻井健一教授率いる 乳腺内分泌外科チーム



診察日は月曜午後、土曜日午後です。
予約等は042-316-6211にて。
毎日9時～17時まで受け付けております

クリニック内に設置された
高性能マンモグラフィ

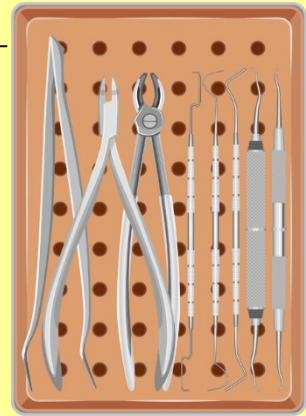


口腔外科の診療を行っております。

口腔外科外来を設けており、適宜患者さんの診療を行っております。

ご紹介いただいた患者さんに関して、多摩クリニックで処置を行います。その後の消毒などの「後処置」につきましては、紹介元の歯科主治医へお願いしています。また、腫瘍などの広範な治療が必要と判断された場合には、パートナーシステムに則り、近隣の病院歯科または日本歯科大学附属病院(飯田橋)での処置を提案し、患者様の希望に応じてご紹介させていただきます。

また、基礎疾患をお持ちの患者さんに対する診療(有病者歯科治療)も行っており、特に外科的処置が必要な患者さんの対応が可能です。



歯科訪問診療について

通院が困難になった患者さんに対して、継続的な口腔管理を実施しています。一般的な歯科診療や全身管理を伴う歯科診療、口腔外科的処置など、訪問診療と外来診療を組み合わせながら、患者さんにとって最適化した組み合わせで対応しています。また、摂食嚥下障害に関わる診療も実施しています。先生方の訪問診療のバックアップとしてもご利用ください。

摂食嚥下リハビリテーションと歯科治療(成人外来)

摂食嚥下リハビリテーションを実施しています。加えて、心疾患や脳血管疾患などを伴い、歯科診療を行う上で問題になる可能性のあるいわゆる有病者の歯科診療に対応しています。

小児摂食外来(摂食嚥下リハビリテーション/リハビリテーション)

発達期の障害が原因で「摂食嚥下障害」のある方、離乳食の進め方についてご相談で来院される患者さん、成人になり早期加齢変化の中での食事の困りごとが出現し来院される患者さんなどが対象です。また、食べるのが遅い、硬いものを食べるのが苦手、偏食といった主訴で来院される患者さんもおおり、「口腔機能発達不全症」という歯科保険病名で口腔機能の管理指導が行えるようになりました。子どものみならず保護者への支援も含め、親子に寄り添うという姿勢を持って摂食の支援を行っています。

スペシャルニーズデンティストリー

治療が困難な児や、基礎疾患がある患者さんの歯科治療を行っております。処置終了後は、地域の歯科医院でメンテナンスを継続していただく場合もあります。障害者の歯科治療は、小児外来や成人外来と協力し、症例によっては、全身麻酔管理下で処置致します。

口腔外科診療について

口腔外科的処置は常勤の口腔外科医が実施します。広範な処置を必要な場合には、近隣病院歯科や附属病院(飯田橋)など高次医療機関と連携して対応します。また、基礎疾患をお持ちの患者さんに対する診療(有病者歯科治療)も行っており、特に外科的処置が必要な患者さんの対応が可能です。

食のサポートステーション 「はつらつ」のご案内

～ 当クリニックの1階にあります～
300品以上取り揃えた介護食品のお店です！

当ショップでは、やわらか食品・濃厚流動食品・水分補給ゼリー・とろみ調整食品・食具など「はつらつ食品」から厳選した商品を販売しております。中でも、やわらか食品はやわらかさ別にレトルトからカップタイプまで約150品目を取り揃えております。手にとって商品を見る事ができますので、介護食の購入が初めての方でも安心してご利用いただけます。



お問い合わせ先：042-514-8233

定休日：水曜日・日曜日・祝日
(当クリニックの休診日に準ずる)

営業時間：10:00～17:00
(昼休み 12:30～13:30)



歯科衛生士 田中祐子さん 日本障害者歯科学会 学術大会優秀発表賞受賞

第24回日本障害者歯科学会学術大会にて、当クリニック歯科衛生士 田中裕子さんが「摂食嚥下外来に訪れた低出生体重児の実態」を発表され、見事に優秀発表賞を受賞いたしました。田中裕子さん、おめでとうございます。

個人的はお話になります。が、この頃が寒くなり、どうしても夕食に鍋が食べたくなります。母がもつ鍋を作るのが楽しくなりました。おかげで、ある冬の夕食で約1か月間「もつ鍋」が出てきました。

毎食「おいしい！」と食べていたが、さすがに3週間経過すると、いくら小学生とは言え、若干の胃もたれを感じた。そうして母からも「もつ鍋、食べ過ぎたね」と、ようやく弱音を聞くことができた。それ以来、我が家ではもつ鍋が出てきていない。

最近では少しづつ落ち着いたと思われ、新しい新型コロナウイルスですが、やはり第6波に襲われられないよう、私も自粛しております。そのため仲間と鍋を食べたいと思っております。そんな時は一人用の土鍋で鍋を作り、食事を摂っています。

一人暮らしの私にとって鍋は、冷蔵庫内の食材を無駄にせず、片付け作業の一つとも言えます。色々と野菜を使い鍋を作ると、大変美味しいです。

先日、テレビコマーシャルで「世界中の飢餓に苦しむ人に食料を」と、テロップが流れていました。毎日おもしろいと思っております。ところが当たり前の食事をし続けることが当たり前の生活が、胸が詰まる思いです。そのために、胸が詰まる思いです。そのために、胸が詰まる思いです。そのために、胸が詰まる思いです。

ね、と食事をし続ける。毎日「美味しい」と、食材は無駄にせず、美味しく食べています。

文・水越新人

編集後記

日本歯科大学 口腔リハビリテーション多摩クリニック

- ・アクセス JR中央線 東小金井駅 南口 目の前
- ・連絡先 〒184-0011 東京都小金井市東町4-44-19
TEL 042-316-6211 Fax 042-316-6212
- ・診療時間 午前9:30-12:00 午後13:00-17:00 (最終予約16:00) ※完全予約制



水曜日、日曜日、年末年始・創立記念日・祝祭日を除く
詳しくは多摩クリニックホームページへ<http://dent-hosp.ndu.ac.jp/nduhosp/tama-clinic/> ニュースレター編集 水越新人